

第6回 鳥取県サイクルツーリズム推進・連携会議

日時：令和7年2月13日（木）13:30～

場所：とりぎん文化会館 第3会議室

[オンライン併用]

1 開会

2 報告事項

(1) 鳥取うみなみロードの整備状況

(2) サイクリストの聖地化に向けて

(3) 鳥取うみなみロードのロゴマーク決定

3 協議事項

(1) 鳥取うみなみロードのサブルート設定

(2) 鳥取うみなみロードの魅力向上

4 意見交換

5 閉会

第6回 鳥取県サイクルツーリズム推進・連携会議 出席者

区分	団体名	役職	氏名	会場
サイクリスト	鳥取県サイクリング協会	会長	生田 仁史	
	とっとりサイクルツーリズムの会	会長	山下 眞里	○
	鳥取中部ツーリズム協議会 *	事務局長	矢吹 仁	
自転車産業	鳥取県自転車商協同組合	副理事長	河井 広道	○
サイクル拠点	(有)森の国 (コグステーション大山)	代表取締役社長	伊澤 大介	
	皆生温泉旅館組合米子市観光センター (コグステーション皆生) *	事務局長	河津 幸雄	○
観光・経済	鳥取県商工会連合会	会長	馬野 慎一郎	○
	鳥取県商工会連合会 西部産業支援センター *	係長	瀨本 直子	
	鳥取県商工会議所連合会 *	地域・経済振興部 次長	佐藤 順	○
	(一社)日本旅行業協会中四国支部鳥取地区委員会 *	事務局長	河本 宣明	
	(一社)全国旅行業協会鳥取県支部 *	会員	田中 洋子	○
交通	西日本旅客鉄道(株)マーケティング本部 鉄道マーケティング部 山陰営業部	部長	新森 恵太	
国	鳥取河川国道事務所	事務所長	貴田 勝太郎	○
	倉吉河川国道事務所	事務所長	高橋 渉	
	日野川河川事務所 *	事務所長代理	実近 未生	

区分	団体名	所属・役職	氏名	会場	
市町村	鳥取市 *	観光・ジオパーク推進課 課長補佐	川口 隆		
	米子市 *	観光課 課長	田中 祐		
	倉吉市 *	観光交流課 課長	藤井 拓也		
	境港市 *	観光振興課 課長	片岡 直人		
	岩美町	町長	長戸 清	○	
	若桜町 *	経済産業課 係長	津川 尚貴		
	智頭町 *	企画課 主事	谷口 史行		
	八頭町 *	産業観光課 商工観光室 主任	坂本 ちやこ		
	三朝町 *	観光交流課 主事	山本 勇樹		
	湯梨浜町 *	副町長	吉川 寿明		
	琴浦町 *	副町長	田邊 正博	○	
	北栄町 *	観光交流課 課長	永田 裕一		
	日吉津村	村長	中田 達彦		
	大山町	町長	竹口 大紀		
	南部町 *	企画政策課 主事	大塚 怜		
	伯耆町 *	行政専門員	野坂 博文		
	日野町 *	産業振興課 主事	三好 郁瑠		
	県	鳥取県	知事	平井 伸治	○

アドバイザー	(株)ARCH・ヒーロー北海道	代表取締役社長	高橋 幸博	○
--------	-----------------	---------	-------	---

(1) 鳥取うみなみロードの整備状況

○令和4年度に策定した整備計画に基づき整備を進め、走行環境の一部の項目を除き、今年度末までに指定要件クリア。

走行環境整備



矢羽根整備



注意喚起表示

受入環境整備



ゲートウェイ整備



サイクリストに優しい宿

《要件未達成(走行環境)》

- ・「鳥取うみなみロード整備計画」に基づく整備完了の時点(令和6年度末)で、評価の目安となる要件充足率約7割を達成(約75%)。路肩幅の未整備(確保が困難)等による要件未達成区間が3割程度ある。

※自転車歩行者専用道路が整備されていない車道混在区間では、100m程度の間隔で矢羽根を設置、又は外側線の外側に1.0m以上の幅員を確保すること。ただし、自動車交通量が概ね10,000台/日以上の場合、矢羽根及び路肩確保の整備が必要。

今後の想定スケジュール

[国が定めているNCR制度]

新たなルートへの指定は、国の自転車活用推進計画期間内に1回とし、3～5年ごとに実施する。

《自転車活用推進計画とNCR指定について》

計画	計画期間	NCR指定
第1次計画	平成30年度～令和2年度末	ビワイチ、しまなみ海道など 3カ所 指定(令和元年11月)
第2次計画	令和3年度～令和7年度末	太平洋岸自転車道など 3カ所 指定(令和3年5月)
第3次計画	令和8年度～令和12年度末	



しまなみ海道



ビワイチ



太平洋岸自転車道

その他意見と対応

○初心者でも楽しめるよう短距離(20~30Km)のモデルルートが必要。

[対応案] 鳥取うみなみロードを東・中・西に3分割し、地域ごとにテーマ性を持った魅力あるモデルルートの設定を進める。

○市町村における自転車活用推進計画の策定

[対応案] 計画策定に向けて、市町村担当者勉強会(令和7年3月)の開催のほか自転車活用事例を発表をするセミナー(令和7年5月)を開催予定

○自転車活用推進に関する全国規模会議の開催

[対応案]・「サイクルトレイン・バス全国フォーラム会議」(仮称)の開催(令和7年7月頃)
・ 自転車を活用したまちづくりについて議論する全国会議の令和8年度以降の本県開催に向けて検討を進める。

(2) サイクリストの聖地化に向けて

《自転車活用の推進》

① 第二次鳥取県自転車活用推進アクションプログラムの策定

- ・有識者を交えた検討会(令和6年11月及び12月)において議論。新たに目指す姿や目標指標を設けるなどの充実を図り、今後、パブリックコメント等を経て3月末には策定見込み。

② 日野郡3町における自転車活用推進計画の策定

- ・日野郡3町と県が連携し、3町をエリアとする広域的な自転車活用推進計画を3月末までに策定予定。
- ・令和6年12月には日野郡3町をつなぐモデルルートを設定。

③ 国の「自転車活用推進功績者表彰」の受賞(大山時間)

- ・西部圏域7商工会が連携したブランディングプロジェクト「大山時間」が実施するサイクルツアーガイド養成・サイクルツアー造成、情報発信等の実績が評価され、同賞を受賞。



令和6年5月29日 表彰式(国土交通省)

《地域での実施状況》

④ やずわかライド初開催／観光列車「あまつぼし」サイクリトレインツアー

- ・八頭若桜周遊サイクリングルートの整備完了を祝うサイクリングイベントを八頭町観光協会・若桜町観光協会の主催のもと令和6年5月20日に開催。地元小学生など約90名が参加。
- ・観光列車「あまつぼし」を使ったサイクリトレインツアーを令和6年10月26日に実施
(主催:上郡まちづくり推進委員／参加者15名)

⑤ 倉吉市におけるサイクリングルート造成

- ・「関金温泉」を核とした地域振興を図るため、鳥取うみなみロードから関金温泉をつなぐサイクリルルート設定について今年度3回にわたって検討会を開催。(令和7年度中にルート造成予定)

《項目の詳細については別冊の資料をご覧ください》

(2) サイクリストの聖地化に向けて

《公共交通との連携》

⑥ 鳥取うみなみサイクルトレイン

- ・令和6年10月から12月にかけて、山陰本線(鳥取～米子駅)において定期列車による「鳥取うみなみサイクルトレイン」を運行。(1日1往復、1車両に自転車1台積載)
- ・乗車率は6割。そのうち4割は県外サイクリストが利用。



《インバウンド》

⑦ 国際定期貨客船を活用したインバウンド誘客

- ・イースタンドリーム号の就航等を受け、韓国等からのサイクリスト誘客に向けた情報発信等を実施



《広域連携等》

⑧ タウンミーティングの開催(主催: SetouchiVelo協議会)

- ・瀬戸内地域から多くの行政や関係団体・事業者が来県し、弓ヶ浜サイクリングコースの試走や講演会などを実施。(R6.4.25 米子市・境港市で開催)

⑨ 自転車利用環境向上会議への参加

- ・令和6年10月3日、4日に福井県で開催された会議に県や県内市町、商工関係者等15名が参加。
- ・ポスターセッションにおいて県が出展したポスター(「鳥取うみなみサイクルトレイン」の取組)がMVP(第1位)を受賞。

(2) サイクリストの聖地化に向けて

《受入環境整備・機運醸成》

⑩ 受入環境整備等(ダイジョウブシステム／サイクリングガイド養成講座)

- ・全県においてサイクリストwelcomeな施設店舗を拡充。(346施設 ⇒ 368施設)
- ・商工会連合会と連携して、観光消費拡大や滞在時間の延伸を目的に、自転車で地域の魅力を案内するサイクリングガイドの養成を実施。(R6年度受講者19名)
- ・養成講座の受講者は延べ人数70名を超え、志の輪が広がってきている。



サイクルカフェ



コグステーション皆生



サイクリングガイド養成講座の様子

⑪ 自転車交通安全ルールの啓発

- ・5月の自転車月間に合わせてサイクリイベントにおいて自転車ルールの広報啓発を実施
- ・県警と連携して自転車ヘルメット着用に向けた啓発チラシ配布



自転車ルール啓発



啓発チラシ配布

《項目の詳細については別冊の資料をご覧ください》

(3) 鳥取うみなみロードのロゴマーク決定

「鳥取うみなみロード」のロゴマークを2月6日に決定！



【募集期間】 令和6年10月4日～11月13日

【応募総数】 263作品

《コンセプト》

- ・日本海を間近に、爽快な潮風を肌を感じながら走行しているイメージ。
- ・自転車の車輪部分は鳥取の「と」になっており、鳥取らしさを表現。

⇒ 今後、鳥取うみなみロードの発着点での掲示やサイクリングマップ、のぼり旗、路面標示などに活用

⇒ 3月下旬の鳥取うみなみロードの開通5周年に合わせ、ロゴマークを盛り込んだ横断幕を作成し、米子市観光センターに設置予定。

【協議事項 1】鳥取うみなみロードのサブルート設定

○NCR指定要件における走行環境の未達成区間については、引き続き本ルートにおける安全性確保に向けた走行環境の充実(路肩の確保)を進めていく。

○サイクリストの安全性確保とともに、圏域の周遊性を高めるため、本ルートを迂回する交通量の比較的少ないルート「サブルート」の設定を検討。



■サブルート設定を検討する区間

- | | |
|--------------------------------|--------|
| ① 昭和町交差点～夢みなと公園入口[国道431号] | 約3.7km |
| ② 米子市淀江町支所～大山町の境目[国道9号] | 約2.1km |
| ③ 大山町琴浦町の境目～丸尾交差点[国道9号] | 約7.9km |
| ④ 八束水交差点～永江川橋東交差点[国道9号] | 約1.8km |
| ⑤ 道の駅白うさぎ ～ 溝川交差点[国道9号] | 約2.0km |
| ⑥ R9オンランプ出口 ～ 空港入口交差点[国道9号] | 約1.0km |
| ⑦ 鳥取港湖山停車場線別れ ～ 鳥取大橋 [県道・国道9号] | 約2.5km |

鳥取うみなみロード サブルート設定の考え方等

[設定の目的]

鳥取うみなみロード上の交通量1万台以上／日の区間における安全性の確保

[設定の考え方]

- ・サイクリング中級・初級者・ファミリー層などをターゲットとして案内を行う。
- ・地域周遊のサイクリングルートの一部としての活用を検討

[サブルートの整備方針(案)]

・鳥取うみなみロード本線からサブルートの分岐点及びサブルート内の一定区間において、案内看板(必要に応じて注意喚起看板等)を設置する。

※矢羽根の整備は行わない。

※サブルートの整備(看板等)は各道路管理者が実施

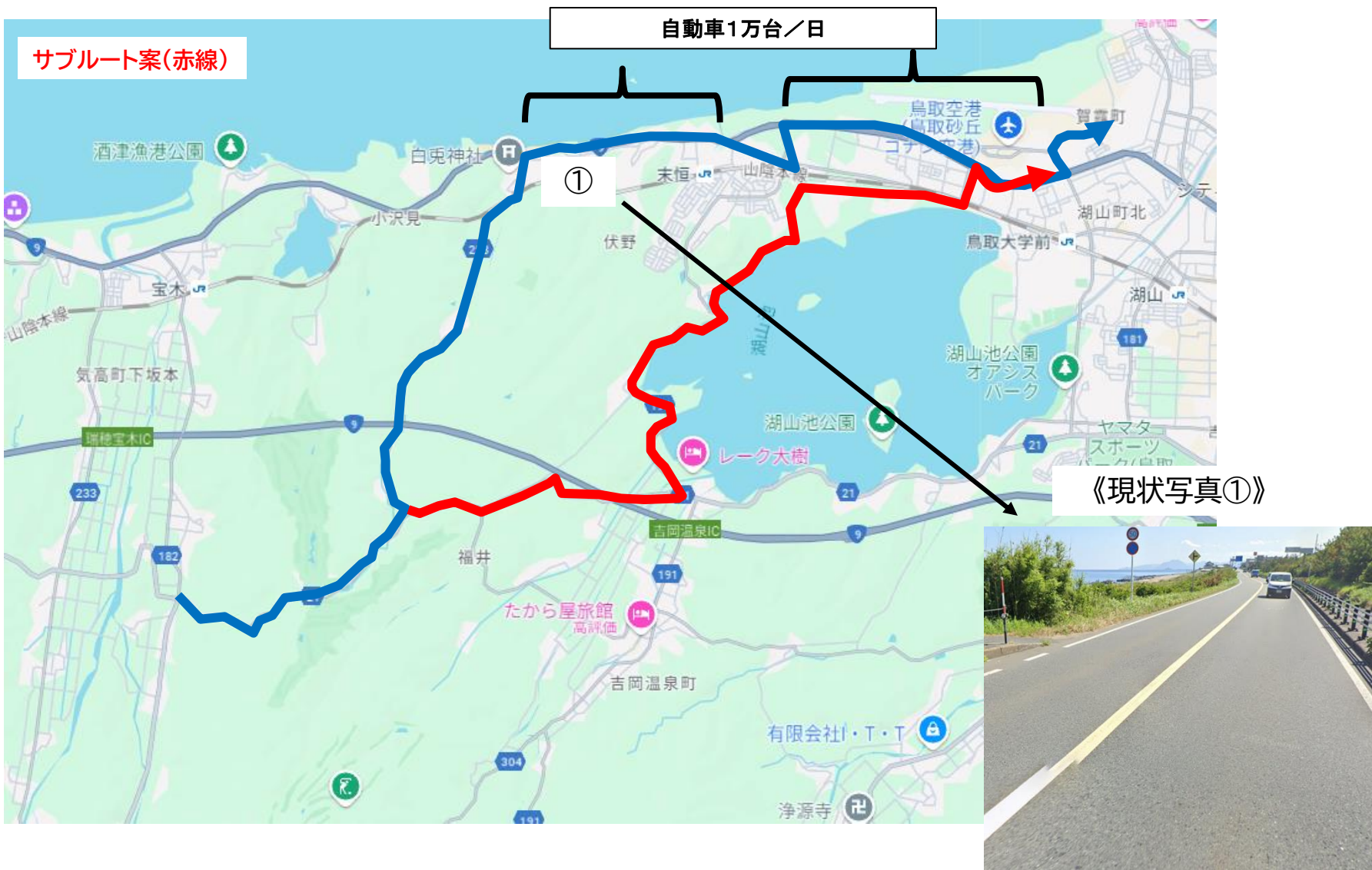
[今後のスケジュール]

令和7年2月～3月
3月以降
秋頃

サブルート設定と整備方針の決定
整備着手
整備完了

鳥取市サブルート(案) 【道の駅白うさぎ～溝川交差点・R9オンランプ出口～空港入口交差点】

⇒ 鳥取市の「白兔サイクリングルート」を活用してサブルート設定を検討中。



【協議事項2】鳥取うみなみロードの魅力向上

- サイクリストが集まる仕掛けや盛り上がりが必要との有識者からの助言を踏まえ、スタート・ゴール地点にロゴマークの設置やランドマークとなるモニュメントの設置を検討。
⇒ サイクリストのSNS等による広報効果(写真映えするスポットの設置)や、走破したくなる仕掛けづくりにより、地域内での滞在時間の延伸や消費拡大を狙う。

○モニュメント設置場所(案)

- ・鳥取うみなみロード沿線において、東部・中部・西部エリアに1か所ずつ設置を検討中

○モニュメントのイメージ

- ・自転車と一緒に記念に撮影ができ、景観にもマッチしたものを想定。

(参考)イメージ ※他県などのモニュメント事例

ビワイチ



しまなみ海道



太平洋岸自転車



鳥取駅前

